

## 適正利用・エコツーリズムワーキンググループの経過報告・今後の予定

本ワーキンググループは、知床世界自然遺産地域の適正な利用及びエコツーリズムの推進等を通じて、良質な自然体験を提供するために必要な科学的助言を得ることを目的して設置されている。現状における重要な役割は、知床エコツーリズム戦略に基づく提案についての議論であり、昨年度に引き続き制度を運用している。

### 1. 知床エコツーリズム戦略の運用状況

提案され取組が進められている4件については以下のような状況である。また、過去の案件も含めた検討状況は別紙のとおりである。

#### ① 厳冬期の知床五湖エコツアー事業（提案者：斜里町観光協会）

冬期閉鎖されていた道道知床公園線を除雪し、人数制限、ガイド同伴のうえで冬期の知床五湖をまわるエコツアーを実施した。平成28年度で3年間のモニターツアー期間を終えたため、平成28年度第2回検討会議の際、今後の継続について審査を行った。審査の結果、知床五湖冬期適正利用協議会が植生や利用状況などをモニタリングしながら事業を継続していくこととなった。平成29年度以降の検討会議では個別部会からの報告事項としてモニタリング結果やツアーの実施状況などについて報告を受ける予定。

#### ② 赤岩地区昆布ツアー（提案者：羅臼町観光協会）

半島先端部での文化資源を活用した教育目的のツアーと位置づけて試行している。平成28年度で3年間のモニターツアー期間を終えたため、平成28年度第2回検討会議の際、今後の試行延長について審査を行った。審査の結果、今後5年間は植生や利用状況のモニタリングを行うなどの条件付きでツアーの試行を継続し、その間に当該ツアーに対する地域内の合意形成や持続的な事業形態の検討を行うこととなった。また併せて、今後5年を目途に事務局側においても地域の意見や利用状況・ニーズの変化等を踏まえた知床半島の利用のあり方について、既存ルール等の見直しを含めた検討を進めていくこととなった。5年間の試行後、ツアーの催行結果や地域内の合意形成状況、利用のあり方に関する検討結果との整合性などを加味して、再度ツアーの是非を検討する予定。

#### ③ 外国人旅行者向け情報発信の強化（提案者：知床財団）

ルールを含めた知床の楽しみ方について、外国人に向けた情報発信の強化を目的とした各種事業を行った。平成28年度は利用施設最新情報ボード（知床情報玉手箱）の構築や「日刊ヒグマ情報」の発信、日本語＋英語表記の登山道マップの作製などを実施。平成29年度は知床情報玉手箱の機能拡張や部会関係者による共同事業の検討、しれとこ100平方メートル運動地公開トレイル・しれとこ森づくりの道の延長・新設を実施する予定。

#### ④ 先端部地区利用の心得の点検（提案者：環境省釧路自然環境事務所）

策定より時間が経過している先端部地区利用の心得について、利用者ニーズや利用形態の変化等を踏まえ、点検作業を行った。平成28年度は計4回の部会を開催し、利用の心得修正案及びその普及啓発媒体について議論した。平成28年度第2回検討会議において利用の心得

修正案が承認され、平成 29 年 3 月付けで利用の心得が改訂された。平成 29 年度は利用の心得の普及啓発媒体として、利用形態別パンフレットの作成と Web サイト「シレココ」の改訂を行う予定。

## 2. 個別地域における取り組み状況

### ○知床五湖における利用調整地区制度の運用

引き続き、ヒグマ活動期及び植生保護期を適切に運用した。平成 28 年度の立入認定者数は、8 月台風の影響もあり前年度比 92%の 65,863 人となった。制度導入以降は 6 万人代後半で安定的に推移している。

### ○カムイワッカ地区におけるマイカー規制

平成 28 年は 8 月 1 日～25 日及び 9 月 18 日～22 日の計 30 日間でマイカー規制を実施した。平成 29 年は 8 月 1 日～25 日の 25 日間でマイカー規制を実施する。

### ○ウトロ海域におけるケイマフリをシンボルとした協働

知床ウトロ海域環境保全協議会として、知床海鳥 WEEK や自然センターでの企画展等の各種イベントや海鳥のモニタリングを実施。海域観光の充実や収益の環境保全への還元、野生動物と人との適正な関係の周知等を目的として知床ウトロ海のハンドブックを発行し、平成 28 年度は約 3,800 冊を販売して売り上げが 114 万円となっている。平成 29 年度はほっこり基金（北洋銀行）の寄付金もいただき、海鳥の調査及び普及啓発を実施する。

## 3. 主な検討事項等

平成 28 年度の検討会議における議論や利用に係る状況等を踏まえ、今後以下の点について具体的な対応を検討する予定。

- ① 提案の承認等にあたって参照すべき計画や利用のルール等が複数あり、関係者間での認識共有が図られていない場面が見られるとともに、利用のあり方に関する議論等を求める意見が出されたことから、既存ルールの見直しを含めた議論・検討を推進する。
- ② 地域外からの資源利用が散見されているが、現状では検討会議への提案はないため、地域内の関係者等との議論を行いつつ、特に観光関係の資源利用者の検討会議への参加を促すなど、地域外の資源利用者からも提案がなされるような検討を推進する。

## 4. H29 年度適正利用・エコツーリズム検討会議の開催予定

第 1 回：平成 29 年 9 月末～10 月上旬 羅臼町（予定）

第 2 回：平成 30 年 1 月下旬～2 月上旬 斜里町（予定）

知床エコツーリズム戦略に基づく提案の進捗状況

資料1-4-2

H24年度 ①:10月 ②:3月	H25年度 ①:7月 ②:2月	H26年度 ①:7月 ②:1月	H27年度 ①:9月 ②:12月 ③:3月	H28年度 ①:9月 ②:3月	H29年度
---------------------	--------------------	--------------------	--------------------------	--------------------	-------

実施部会

知床五湖冬期利用促進事業検討部会 【知床斜里町観光協会】	提案	経過 報告	経過 報告	経過 報告	承認	予定 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告	審査・承認
赤岩地区昆布ツアー一部会 【知床羅臼町観光協会】				提案	承認	実施 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告	審査・承認

検討部会

外国人旅行者向け情報発信の強化部会 【知床財団】						提案	経過 報告	経過 報告	経過 報告	
先端部地区利用の心得の点検検討部会 【環境省釧路自然環境事務所】						提案	経過 報告	経過 報告	経過 報告	

終了・解散した部会

知床野生動物エサやり禁止キャンペーン企画部会 【知床斜里町観光協会】	提案	承認	実施 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告	自主 継続		
知床沼部会 【羅臼山岳会】	提案	承認	実施 報告							
知床ロングトレイル・プロジェクト部会 【知床ガイド協議会】			提案	経過 報告	取り 下げ					
知床条例検討部会 【北海道生物多様性保全課】						提案	承認			

個別部会等(報告)

知床五湖地区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
カムイワッカ地区	○		○	○	○	○	○	○	○	
ウトロ海域	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
羅臼湖地区	○	○								羅臼湖部会はH24年度をもって解散 「知床世界遺産施設等運営協議会 羅臼湖歩道維持管理委員会」に移行

報告事項

知床五湖地区周辺における早朝利用 【知床斜里町観光協会】						○	○			
スカイバス 【知床斜里町観光協会】						○	○			

※着色は事業(取組)の実施期間